

よみきかせをしています

恒川 溶子

1. はじめに

萬里図書館には、『よみきかせの会ブー・フー・ウー』というボランティアグループがあります。現在19名のお母さん方がメンバーで、幼児を対象に、絵本のよみきかせをした後、簡単なあそびをしています。今年で10年あまり続いているよみきかせの会ですが、活動の様子も少しずつ、状況に合わせて変化しています。

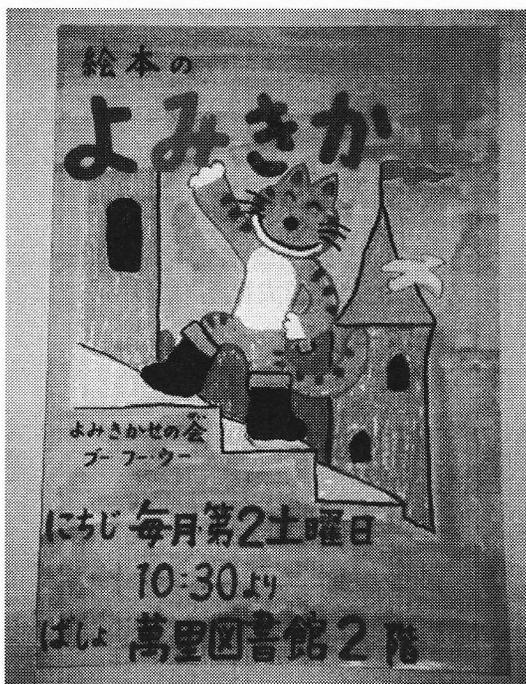
主な活動は、毎月第2土曜日のよみきかせ、夏休みのよみきかせ、9～2月まで町内の各幼稚園に月に一度の出張(?) よみきかせです、その他に、年に一～二度、会員の研修会を行っています。

2. これだけの準備をしています

基本的には、毎月第1と第2の水曜日の午前中に、図書館にお母さん方が集まって、準備をします。第1水曜日はポスター描き、第2水曜日はあそびの用意と本選びです。

●ポスター

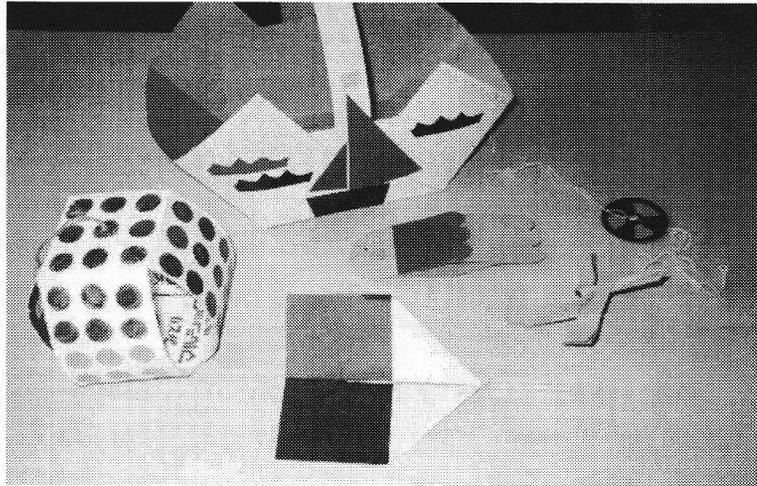
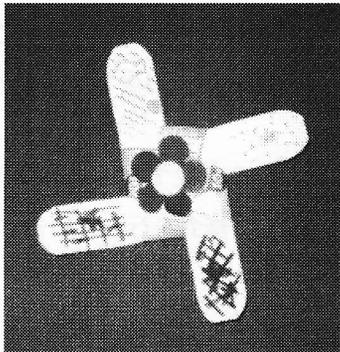
絵は、できるだけパッと見たとき“絵本”とつながるようなものを、選んで描いています。季節もできれば織り込んで。例えば、春ですと“みつばちマーヤ”や“いっすんぼうし”、夏ですと“うらしまたろう”などを、みんなで描いています。このポスター、園児が一人の幼稚園にも描いて、貼ってもらっています。多い月は10枚ほども描きます。



●あそび

子どもの手で、20分位で出来上がるような、手づくりのおもちゃ等を作ります。ある程度までこちらで作っておいて、20分で出来上がるようにする、というのが難しいところです。

びゅんびゅんごまや、折り紙、牛乳パックを使ったものなどです。絵本に、ちょっと飽きてきた子どもも、喜んで参加してくれます。



●本選び

一連の準備の中で、最も各自の個性を発揮できるところです。可愛らしい絵柄のぴったりな人、静かに落ち着いたお話の上手な人、鬼ババモノを得意とする人……それぞれのお母さんが、自分の持ち味を生かした絵本を選んでいるのには、感心してしまいます。

そして選んだ本は、家に持ち帰り、10～14日間ほどは、せめて一日に一度、実際に声を出して練習をしましょうと、申しあわせています。

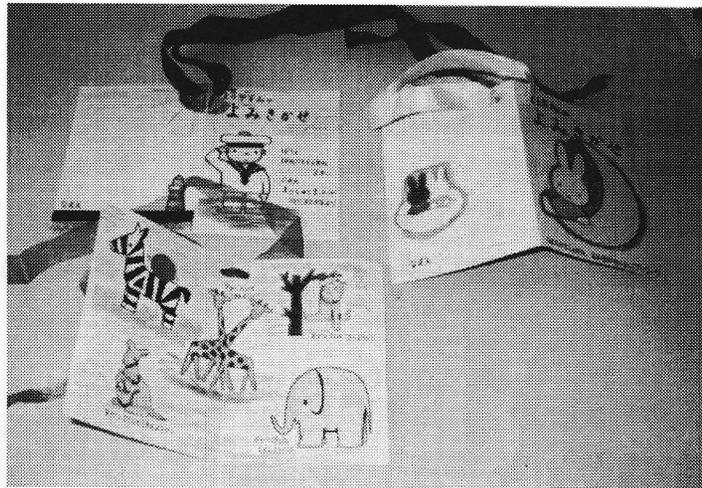
《お母さん方、お薦めの絵本》

- 『あーんあーんの絵本』シリーズ せなけいこ作・絵 福音館書店
- 『いいものもらった』 森山京作 村上勉絵 小峰書店
- 『いやだいやだの絵本』シリーズ せなけいこ作・絵 福音館書店
- 『うみをあげるよ』 やましたはるお作 むらかみつとむ絵 偕成社
- 『大きなおいも』 赤羽末吉作・絵 福音館書店
- 『おばけえほん』シリーズ せなけいこ作・絵 童心社
- 『おにがら』 たかしよいち作 斎藤博之絵 岩崎書店
- 『かもとりごんべ』 斎藤君子作 遠藤てるよ絵 ほるぷ出版
- 『がんばれゴロウ』 福田岩緒作 文研出版
- 『きつねとかわうそ』 後藤榎根作 遠竹弘幸絵 教育画劇
- 『子どもがはじめてである民話』シリーズ 大川悦生作 ポプラ社
- 『こんとあき』 林明子作・絵 福音館書店

- 『じごくのそうべい』 田島征彦作・絵 童心社
『ぞうさんのうち』 角野栄子作 佐々木洋子絵 ポプラ社
『だいくとおにろく』 松居直再話 赤羽末吉絵 福音館書店
『だいちゃんのちびねこ』 やまもとまつこ作 ポプラ社
『ちびねこミッシェル』 東君平作 和歌山静子絵 童心社
『月がくれたきんか』 アナリーセ・ルッサルト作 ヨゼフ・ウィコン絵 セーラー出版
『とうきちとむじな』 松谷みよ子作 村上勉絵 フレーベル館
『どうぞのいす』 香山美子作 柿本幸吉絵 ひさかたチャイルド
『ねずみくん』 シリーズ なかえよしお作 上野紀子絵 ポプラ社
『花咲き山』 斎藤隆介作 滝平二郎：絵 岩崎書店
『びゅんびゅんごまがまわったら』 宮川ひろ作 林明子絵 童心社
『ぼくは1ねんせいだぞ』 ふくだいわお作・絵 童心社
『モチモチの木』 斎藤隆介作 滝平二郎絵 岩崎書店
『ワニくんのおおきなあし』 みやざきひろかず作・絵 ブックローン出版
その他

●カード

夏休みと、9～2月の各幼稚園への出張よみきかせには、その度ごとにシールを1枚貼る出欠(?)カードを配ります。夏休みなら、日付・時間等を記しておきます。



3. いよいよ準備ができて、本番です

2～3人ずつのチームで、おそろいの赤いエプロンをつけて、よみきかせをします。

お母さん方に、いつも心がけていることを、聞いてみました。

- 間のとり方を考えて、ゆっくり読む。
- 絵が見やすいように、本を持つ。
- 読む速さなどに強弱や変化をつける。基本的には大きい声でハッキリと。
- 気持ちをこめて読む。楽しい時には楽しいように、悲しい時には悲しいように。
- クライマックスの場面の読み方に気をつける。
- 自分の緊張を解くために、笑顔で子ども達と話して、リラックスして読む。
- 読み終わった後、子ども達の心の中に、お話の世界が残るように、感想をすぐ聞かない。

等々です。

子ども達の反応は素直で、悲しいお話は、シーンと聞いていますし、おもしろいお話だと、思わず“あっ！ ぼくも…”などと声が出たりします。子どもと一緒に絵本を楽しんでくれたら、何よりも、私どもの喜びであり、準備の大変さも忘れてしまいます。

4. 今後の活動について

みんなで力を合わせて、問題につきあたれば、話し合い、助け合って続けてきた会です。

現在の活動が、これからも少しずつ変化しながら、成長していくのではと思います。

また、本の勉強会、他のよみきかせの会との交流等の研修をしたいという、お母さん方の希望があり、そのような場を探し、提供していくのは、私ども図書館員の仕事かと考えています。

「自分にできないことは、他の人がカバーしてくれるから大丈夫！」という信頼と、肩肘はらない姿勢で、これからも長く楽しんでいけたら、と思います。

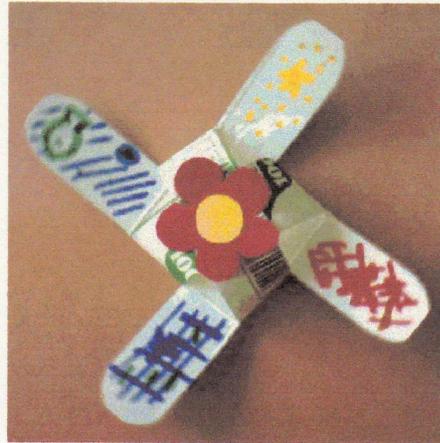
(つねかわ ようこ 日出町立万里図書館)



絵本のよみきかせ
 にちじ 毎月第2土曜日
 10:30より
 ばしょ 萬里図書館2階



よみきかせの会
 プ・フ・ウ



藤原公民館 毎週 金曜日 午前10:30より
(10:15 受付開始)
 萬里図書館 毎週 土曜日 午前10:30より



夏休み 絵本のよみきかせ

えほんのよみきかせ



場所 萬里図書館2階 毎月第2土曜午前10時30分より

日時: 毎月第2土曜日
 午前10時30分より
 場所: 萬里図書館2階

よみきかせの会
 プ・フ・ウ
 〰〰〰



えほんの
 よみきかせ

絵本の
 よみきかせ



よみきかせの会 プ・フ・ウ
 〰〰〰

場所 萬里図書館2階
 日時 毎月第2土曜日 10:30より

10.00.56